

1, 本時の目標

「自分たちが知らないこんな仕事があるんだ!」「仕事って案外面白そう!」とワクワクして授業を終えてもらう。

2, 教材観(教材のテーマの概要と授業を実施する理由)

本教材では、仕事探しの環境の変化、並びに、自分が理想とする仕事に就くためにはどのようなアプローチが必要なのかを学ぶ。今日では、仕事探しの環境が激変しており、例えば終身雇用の制度が崩れ始め、転職なども一般的となってきた現状がある。また、新卒採用では一括採用の制度を廃止して通年で採用活動をしている企業が増えたり、フレックスタイム制やリモートワークなどを導入する企業も出てきたりと働き方も多様化してきている。

これから社会に出て行く高校生にとって「仕事探し」は極めて重要な学習テーマである。

3, 生徒観(高校生の実態)

本時の教材を作るにあたって、全国の高校生25人に転職や仕事探しのイメージについてヒアリングを行なった。

まず、仕事探しに関する質問では、高校生の多くが仕事探しを何からはじめたらいいかを分かっていないことが判明した。その理由として、仕事探し自体がまだ先であると認識していることや、将来何になるか決めていない、といったことが挙げられた。

次に、転職のイメージに関する質問では、転職に対してネガティブなイメージを持っている生徒が多いことが分かった。転職理由として高校生が考えたものには、「最初に入った会社で失敗したから入り直すイメージ」「環境が合わないから」という回答があった。また、転職後のイメージも「給料が下がりそう」といった回答が見られた。

こういった、高校生の仕事探しへの知識不足解消や転職への偏ったネガティブなイメージの払拭は、今後の仕事探しの環境の変化に対応するために必要である。

4, 指導観(ワークの設問とその意図)

動画を視聴した後、実際に求人サイトを用いて仕事探しを行う。

自分と向き合い、「今まで知らなかったけど、興味がある仕事」にたどり着けるようワークを設計しています。

1, 5~6名のグループ作成。

2, 自分の良いところを制限時間内に書けるだけ書き出す。(自己理解)

3, グループで各メンバーに対して良いところを2つずつ書いて渡す。(自己理解)

各メンバーの良いところを2つずつキーワードで出し合うことで、自分自身が気づいていなかったような側面を知り、自己理解を深める。5~6名のグループでお互いに書き出すことで様々な意見を知ることができる。

4, 集めたキーワードの中から自分が気になるキーワードを選び、indeedで仕事を検索する。

5, 検索結果から「検索するまで知らなかったけど、興味が湧いた仕事」を3つ選びながら、ワークシートに「検索ワード」「求人名」「興味が惹かれた理由」を記入する。

キーワードを元に検索することで、「検索する前は知らなかったけど、興味が湧いた仕事」を見つけ、自分が知らないだけで世の中には自分が興味を持てる仕事がたくさんある、ということを知る。

6, 選んだ3つの仕事から1番興味が惹かれた仕事を1つを選び、「検索キーワード」「求人名」「興味が惹かれた理由」をグループで全員がシェアする。

7, 各グループの代表者がグループ内で出た話をクラス全体に向けてシェアをする。

グループ・クラス全体でシェアをすることで、自分だけでは辿り着けなかったであろう面白い仕事や沢山ある、ということを知る。その結果、仕事というものに興味を持ち、他にはどんな仕事があるのか、どんなキーワードを入れたらどんな仕事に出会えるのだろうか、と楽しみながら仕事探しに取り組めるようになってもらうことを目指している。

5, 使用する教材・道具

動画投影ができるもの、スマートフォンやPCなどネットで検索ができるもの、インターネットが使える環境、ワークシート